

あすてらすネットワーク

# 情報Market

まーけっと

第3号

2005.3月

## - MENU

あすてらすネットワーク会員交流会… P 2 ~ 3

第2回男女共同参画セミナー ~ レポート ~ … P 4

ネットワーク会員リレートーク… P 5

情報ライブラリー ブック&ビデオ テーマ「みんなの健康」… P 6 ~ 7

島根県立中部情報化センターからのご案内… P 8



# あすてらすネットワーク会員交流会

2月12日(土) あすてらすにおいて「あすてらすネットワーク会員交流会」を開催しました。

大代はぐるま会のみなさんにそば打ちの実演指導をしていただき、そば粉100%の手打ちそばにチャレンジ!

出来上がったそば・鶏五目ご飯・わかめ汁をいただきながら、情報交換会を行いました。

午後からは、自主調査研究支援事業報告会に参加し、盛りある交流会を実施することができました。

大代はぐるま会のみなさん、参加して下さったみなさん、本当にありがとうございました。



交流会の始まりです▶



手際よく準備が進みます



指導を受けて粉をこねます



いい香りが漂います▶



のばします



うまく切れました▶



「お代わり～」



## 自主調査研究支援事業 報告会 13:30~15:30

県内の3団体が半年間に渡り、男女共同参画に関する調査研究を行いました。報告会には あすてらすネットワーク会員の交流会参加者を含む多くの方にお越しいただきました。

この調査研究の内容は啓発誌「しまねの女と男」17号で紹介し、また報告書も発行します。お問い合わせは、財団法人しまね女性センター事業課へお願いします。

発表者とテーマ	横並びの会「自治会での男女の役割」 ひらたネットステーション「子育て世代の女性の社会参加意識調査」 いわみ女性の集い「妊娠・出産を考える意識調査」
---------	---





# 参加者の声

楽しくそば打ち体験ができ、みなさんと一緒に作ったそばも大変おいしくいただきました。そば粉100%のそばを、家庭でも作ってみたいと思います。

# 編集委員 レポート

はじめての参加だったが、今後も交流会等に参加して交流を深めたい。

自己紹介の時間が少し長く、話を聞きたい人に質問できなかったのが残念。



なごやかに楽しい時間を過ごすことができた。

そば打ち体験、非常によかった。

そば粉100%の手打ちそばは特別な味でした。あと2、3回実践してみたい。

情報交換の時間が足りなかった。

6年間の交流会で、以前よりあすてらすへの関心が深まっていることを喜びます。もっともっと深まるようお互いに努力したいと思います。



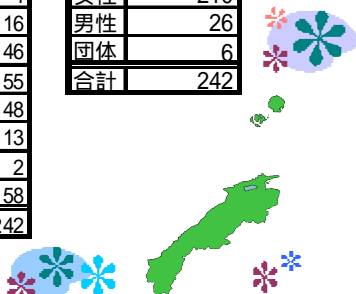
## あすてらすネットワーク会員数

平成16年度あすてらすネットワーク会員数は242名(団体会員含む)となりました。今後もネットワークの輪をみなさんとともに広げていきたいと思ひます。

市町村名	人数	市町村名	人数	市町村名	人数	市町村名	人数
松江市	20	八雲村	2	大社町	2	日原町	5
出雲市	12	玉湯町	2	温泉津町	2	柿木村	2
益田市	9	宍道町	3	仁摩町	3	六日市町	1
大田市	12	八束町	1	川本町	3	隠岐の島町	6
安来市	44	仁多町	1	美郷町	5	海士町	3
江津市	7	横田町	3	邑南町	10	西ノ島町	4
雲南市	9	飯南町	4	金城町	1	知夫村	1
鹿島町	11	斐川町	7	旭町	3	広島県	2
島根町	11	佐田町	3	弥栄村	1	神奈川県	1
美保関町	2	多伎町	3	三隅町	3	団体	6
東出雲市町	5	湖陵町	2	津和野町	3	合計	242

年代	人数
20代	4
30代	16
40代	46
50代	55
60代	48
70代	13
80代	2
不明	58
合計	242

	人数・団体数
女性	210
男性	26
団体	6
合計	242



# 第2回男女共同参画セミナー

Report

1月22日(土)、昨年11月に5町1村(掛合町、加茂町、木次町、大東町、三刀屋町、吉田村)が合併して誕生した雲南市で、雲南市・雲南市教育委員会との共催により、男女共同参画セミナーを開催しました。今回は、「個性輝くまちづくり～男女共同参画社会は女と男、人とまちをつなぐことからはじめよう～」をテーマに、講演・寸劇・座談会を行いました。

## 基調講演

### 「まちの主演はオンリーワンの元気な市民たち」



#### 澤田和子さん

まちアクター・NPO法人自治創造コンソーシアム事務局長

澤田和子さんは講演の中で「高度経済成長の時代を経て、私たちは男女の役割分担を固定化してしまい、結婚や子育ての楽しみを失ったばかりか、働く喜びや生きる喜びにつながらない日本にしてしまった。」と現代社会の問題点にふれた後、「北区役所で初めての女性管理職になる時に躊躇する私の背中を押してくれたのは、尋常小学校程度の教育しか受けてない14歳で嫁ぎ56歳で文字を習い始めた義母だった」という自らのエピソードを入れながら、「このツケを子どもたちの未来に残さないために、一人ひとりが鳴らすハンドベルの音が調和し男女共同参画社会というメロディを奏でることが必要である。」と結ばれました。

基調講演には、東京都北区の職員として人と街、街と行政をつなぐことをモットーに歩まれ、退職後も環境問題、子育て支援等の幅広い活動を

を続けておられる澤田和子さんを講師にお迎えしました。

澤田さんは講演の中で「高度経済成長の時代を経て、私たちは男女の役割分担を固定化してしまい、結婚や子育ての楽しみを失ったばかりか、働く喜びや生きる喜びにつながらない日本にしてしまった。」と現代社会の問題点にふれた後、「北区役所で初めての女性管理職になる時に躊躇する私の背中を押してくれたのは、尋常小学校程度の教育しか受けてない14歳で嫁ぎ56歳で文字を習い始めた義母だった」という自らのエピソードを入れながら、「このツケを子どもたちの未来に残さないために、一人ひとりが鳴らすハンドベルの音が調和し男女共同参画社会というメロディを奏でることが必要である。」と結ばれました。

## 男女共同参画寸劇「うん・なん家族」



ある朝のありふれた一場面だが...

続いては、地元のみなさんによる男女共同参画寸劇により、日常生活の中にある問題点について考えました。

また、座談会では澤田さんのコーディネートにより、県内の様々な分野でご活躍の4名の方々にお話しをしていただきました。

## 座談会

### 「一人ひとりの輝きから感動を育むまちづくりへ」



**吾郷康子さん**(島根県商工会女性部連合会会長)...「出る釘」から「役に立つ釘」になるよう自己研鑽を行いながら、各団体の内部組織としてある女性団体が親会に参画できて必要となくなり、男女共同参画社会が実現するよう頑張っていかなければならないと考えている。

**奥田美奈子さん**(島根県男女共同参画サポーター)...私の住む地域では“男女共同参画”という言葉に馴染みがないというのが実態であり、地域が生き残るためにはどのようなことが必要かを住民と行政がともに考え実践することが必要である。

**落合ひろみさん**(掛合町公民館連絡協議会主事会「早乙女ふぁいぶ」代表)...これまでの公民館活動に加え、子育てや女性グループの育成に力を入れた活動を行うことにより、元気で活気のある地域を作り、子どもたちに見せていくことが大切である。

**半田宏平さん**(島根三洋工業株式会社取締役管理部長)...地場産業としての取組を強化していく中で、職場の環境整備、風土の改善を行い、女性の管理職登用等を進め、性別を問わず、意欲を持って積極的に取り組んでもらえるような方を掘り起こし、企業の活力につなげていきたい。

また、当日の運営には、雲南市在住の島根県男女共同参画サポーターである石原幸枝さん、石田みゆきさん、渡部幸子さん、斉藤佐恵子さんのご協力を得て行うことができました。今後も県のサポーターのみなさん(現在90名)との連携を図っていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

【(財)しまね女性センター 福間祐子】

## あすてらすネットワーク会員 リレートーク

### 子育てとジェンダー



益田市  
杉原幸江

“男女共同参画やジェンダーのことを一生懸命伝えてもなかなか分かってもらえない”という思いをしたことはありませんか？幼いときから積み重ね刷り込まれたジェンダー意識はそう簡単には変わりません。それならば子どもたちの育つ環境の方を見直してみようと、昨年度、仲間と一緒にあすてらすの「おしらべおたすけ道場」に参加。ジェンダー・フリー保育プログラムの研究に取り組みました。

研究を通して、子育て環境の中の、たくさんのジェンダーバイアスに気付きました。そして、子どもたちが性別に基づく差別的な固定概念にとらわれず、のびのびと育つことのできる保育環境について提案をしました。

今年度、この研究を益田市保育研究会が引き継ぎ、研究と実践に取り組んでいます。また、昨年8月の石西地区人権・同和教育研究集会に続き、今年2月の島根県人権教育研究大会、10月の島根県保育研究大会でも報告発表する予定です。

研究に取り組むことで、また様々な場で伝えることで、一人

でも多くの人に気付いてもらいたい、どの子にも自分を認め自信をもって生きる人に育ててほしいと願っています。

写真は全員女の子です。女の子でも好みは色々。それぞれの好みを認めてあげたいです。



### 百才で舞台に夢を



江津市  
中村芳江

「心豊かに楽しい日々を」そうです、私達『琴名流大正琴琴扇芳の会』(会員110名)の合言葉なのです。まだ80才の方も多く教えられる事のほうが多い日々。会員には料理の上手な方が多く、手作りおやつを持ち寄り、色々な講習や、小物から舞台衣装までもが手作り。こんな幸せな会はないと思い、手を合わせて16年が経ちます。

そんな中、人生相談も多く、適切なアドバイスが出来ないほど悲しいことはないと思っていた時、あすてらすの男女共同参画リーダー養成講座を知り飛びつきました。

内容が素晴らしく、受講者の目は輝いています。聴講中横文字が多いので、それってよく活字で見られるけれど…と思いつつ、必死でメモを取り納得。なんだか新しい自分を発見した喜びに感動し、凛々とした空気の流れの中になんともいえない充実感があります。

知識・趣味・仲間・健康・お金を補足しながら大切に組み合わせる人生は、自分レベルを上げる事のような気がします。

会員の相談役として少しでも恩返しが出来ればいいと思い、好奇心旺盛な私は今、男女共同参画リーダー養成講座の受講に没頭中です。



中村さんが代表を務める「琴扇芳の会」では、県内様々な施設等へ出掛け、活動の輪を広げておられます。写真は、江津市内の施設で行われた舞台の様子です。

みなさまからのお便りをお待ちしています。日頃思っていることや、活動紹介、グループのメンバー募集など、どんどんお寄せください！



# あすてらす情報ライブラリー フック&ビデオ

## みんなの健康

今回のテーマは“みんなの健康”です。心や体の健康について、様々な考えや悩みをお持ちの方もおられると思いますが、何か解決のきっかけになるような、そんな本と映画（ビデオ）を紹介します。また、新着図書も続々入荷中です。春の訪れと共に、どうぞ「あすてらす情報ライブラリー」へお出かけください。

### 女らしさの病い 臨床精神医学と女性論

斎藤学・波田あい子編  
誠信書房



いつとはなく共有されてきた「男らしさ」「女らしさ」のルールと、その影響を受けている私たち。夫婦の問題では「私自身であることと母親であること」の矛盾に悩む妻たち。面白いのは、家庭裁判所の妻たちの女性性の問題が14例あり、身近な夫婦像に目が釘付け。性差と精神医学の深い関わりから、女性のうつ病、アルコール中毒、摂食障害を見るのも興味深い。  
(白くま)

### 女性外来が変える日本の医療

対馬ルリ子著  
築地書館



医療の立場から書かれた本。女性の生涯の健康と生活の質を大切にするには、女性のための専門医療が必要と主張されている。個人の年齢・体質・生活・精神状態等に即した医療は女性だけでなく、全ての人に必要なものでもある。そのための試みも既にはじまっていることが嬉しい。  
(涼風)

### 「私が、答えます」 動物行動学でギモン解決！

竹内久美子著  
文藝春秋



「男についての?」「女についての?」「みんなにとっての?」などの章に分かれ、様々な「なぜ?」に対して竹内さんが答えるQ&A形式。男女の行動にはそんな訳があったとは。とにかく楽しい竹内さんの語り口に、こちらもニヤリ、そして「なるほど」の一冊。  
(neko)

## ライブラリー利用ガイド

＼ ほっと一息、お役立ち情報満載! /

開館時間 9:00~17:00 (4月1日より 9:00~19:00)

休館日 月曜日・祝日・年末年始・館内整理日(月末)

貸出冊数 図書5冊まで(2週間)・ビデオ1本(1週間)

URL <http://www.asuterasu.pref.shimane.jp/lib/index.html>



## わたしの更年期事情 ~女50代からの生き方革命~

樋口恵子編  
旬報社



3人の女性が更年期を語り、女性婦人科医との対談やアンケート調査も。その時の自分を、何を考え何を求めていたかを丁寧に丁寧に考えめぐらせ、語っている。そして「深いところでわかりあえる女ともだちのグループ」を作ることをお勧めしている。（涼風）

## みちこの更年期ポップライブ

鈴木みちこ著  
自然食通信社



まさに更年期を楽しむ一冊。ポップライブ調の会話の中で、更年期仲間が増えていく。どれも自分や身近な友にあてはまって泣き笑いしながらページをめくる。具体的に、その訪れ方を感じ、自分ばかりか夫や家族への対処法もたのしい語り口に乗って。男の更年期も語られる昨今、男性も必読。

（白くま）

## ぼけ老人との暮らし方

柚木崎次郎著  
家の光協会



「ぼけ」にともなう排泄、記憶障害、徘徊、妄想、過食などの「問題行動」は、今の高齢化社会では、いずれはわが身と覚悟しないといけないようです。著者は、ぼけ老人の接し方について、単なる義務的なお世話に終始するのではなく、問題行動のあるお年寄りに共感し、お年寄りと共に生きるという姿勢が大事だとしています。（まー）

## からだの見方

養老孟司著  
筑摩書房



人と動物の体は大差はない。動物は病気をしても、脳が小さいからよくよ考えない。体の故障は大きくなった人の脳が問題。唯物論でも唯心論でもない唯脳論が著者の主張である。読み進めていくうち、何度も襲われる爆笑。養老節に、ついつい引き込まれてしまう。（ハッシー）

## 女性たちの医療革命

日米メディカルシンポジウム事務局編  
朝日新聞社



男性の身体を基本として、生殖器の違いだけとして研究されてきた西洋医学。しかし病気の原因や治療方法が、性差によって異なる事が分かってきた。心臓疾患、自己免疫疾患など、男女によって症状も違えば、検査の方法さえ変わるという。「新しい女性医療に向けて」というシンポジウムでは、驚きや「そうではないか」と案じていた多くの実例が興味深い。

（白くま）



## マグノリアの花たち

（1990年/アメリカ）

監督 ハーバート・ロス

出演 サリー・フィールド

病気で、子どもを産めば死ぬと宣言された時、あなたならどうしますか？養子？それとも産む？主人公シェルビーは「空っぽの長い人生より30分の充実した人生」を選択。その結果、糖尿病は悪化…。彼女を取りまく町の人達の明るさやユーモアが重いテーマを救う。（ハッシー）





## 島根県立中部情報化センターからのご案内

あすてらすには『島根県立中部情報化センター』があります。「地域の情報活用能向上」「IT活用の気運醸成」「パソコンボランティア等の交流促進」「コンテンツ産業支援」等を目的に設置された公の施設で、現在『財団法人しまね産業振興財団』が島根県からの委託を受けて管理・運営を行っています。

### パソコン研修について

あすてらす2階の『パソコン研修室』では毎月パソコン研修を開催しています。

初心者から上級者まで毎回様々な内容の研修を行っており、「託児サービス」を受けられるコースもあります。

研修内容は、あすてらす館内のポスター・チラシ（駅側入り口・1階エレベーター前・2階パソコン研修室前・4階事務所）で、また中部情報化センターホームページ等でお知らせしています。

受講にはコースによりテキスト代等が必要です。パソコン研修の応募〆切は毎月20日です。研修内容など詳しくは中部情報化センターまでお問い合わせください。

### 応募方法は？



往復ハガキまたは当センターホームページよりご応募ください。ハガキの方は受講を希望されるコースの第1希望・第2希望と住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上ご応募ください。

託児コースで託児を希望される方は、子どもさんの人数、生年月日、性別、お名前（ふりがな）をご記入ください。

### 施設のご紹介(あすてらす2F)

『島根県立中部情報化センター』は、パソコン研修や個人利用が出来る「パソコン研修室」、インターネット体験やゲームが無料で楽しめる「ニューメディアスペース」、映像の編集が出来る「映像音響編集室」を管理運営しています。

『パソコン研修室』では、研修のない時に有料で個人利用が出来ます。是非ご活用ください。

『ニューメディアスペース』では無料でインターネットやゲームを楽しむことが出来ます。誰もが気持ちよく利用できるようマナーと決まりをよく守って楽しく使いましょう。

パソコン研修室・映像音響編集室のご利用  
9:00～21:00  
(受付は4階事務所で17:00まで)

ニューメディアスペースのご利用  
9:00～19:00  
(土日のご利用は17:00まで)



問い合わせ先 **島根県立中部情報化センター** TEL 0854-84-5593  
ホームページ <http://www.joho-shimane.or.jp/cc/tyubu/>



### \*「あすてらすネットワーク情報Market」へのご意見・情報をお待ちしています\*

住所・氏名(グループ名)・電話番号を明記の上、下記あてにお送りください。FAX、メールも歓迎です。匿名希望の方はペンネームをご記入ください。原稿は500字以内、イラスト、漫画は葉書大以内でお願いします。掲載させて頂いた方には500円分の図書カードをさしあげます。

## INFORMATION

### 開館時間

9時～21時(受付時間は9時～17時まで)

・情報ライブラリー 17時まで

・ニューメディアスペース 19時まで(土曜・日曜は17時まで)

4月1日より受付時間、情報ライブラリーの開館時間は9:00～19:00となります

### 休館日

毎週月曜日・国民の祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

ただし、宿泊施設については、日曜日・国民の祝日・年末年始(12月28日～1月3日)

島根県立男女共同参画センター

**あすてらす**

〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ236-4

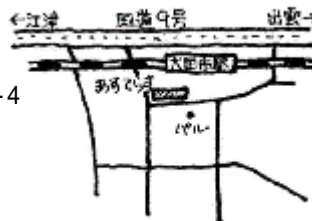
TEL 0854-84-5500(代) FAX 0854-84-5589

URL <http://www.asuterasu.pref.shimane.jp/>

E-MAIL [asu-01@asuterasu.pref.shimane.jp](mailto:asu-01@asuterasu.pref.shimane.jp)

発行/財団法人しまね女性センター

編集/情報Market編集委員 表紙イラスト/おくのあけみ



### 編集後記

先日「あすてらすネットワーク会員交流会」でそば打ちがあり、老骨にムチ打って挑戦しました。詳細は本紙面にも掲載していますが、悪戦苦闘2時間余り、額に汗をにじませながら作ったそば粉100%の味は、お世辞抜きで格別なものでした。そば打ちの道具は、あすてらすに眠っているようですので、みなさんも利用してみませんか？

それと、本紙の編集委員が不足して困っています。関心のある方は、あすてらすまでお問い合わせください。お待ちしております。(まー)